

Dan

Chapter 10

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

בְּשַׁנַּת שְׁלוֹשׁ לְכוֹרֶשׁ מֶלֶךְ כּוּרוֹס הַפֶּרְסִי הַגָּדוֹל לְדַנְיֵאל אֲשֶׁר- 1
その ダニエルに 啓示された 言葉が ペルシアの 王 キュロスの 第三 の-年に
[H1840](#) [H1540](#) [H1697](#) [H6539](#) [H4428](#) [H3566](#) [H7969](#) [H8141](#)

וּבֵין וְקָרָא וְשָׁמוּ בְלִטְשַׁאצָּר וְאֵמֶת וְהַדְבָר וְזָבָא גָדוֹל וְבֵין
そして理解した 大きな そして戦いの 言葉は そして真実で ベルテシャツアルと 名が 呼ばれていた
[H0995](#) [H1697](#) [H0571](#) [H1095](#) [H8034](#) [H7121](#)

אֶת-הַדְבָר וּבִינָה לוֹ בְּמִרְאָה:
言葉を 呼ばれていた 幻について 彼に そして理解が 言葉を 呼ばれていた
[H4758](#) [H0998](#) [H1697](#) [H0853](#)

ペルシャの王クロスの第三年に、ベルテシャツアルと名づけられたダニエルに、一つの言葉が啓示されたが、その言葉は真実であり、大いなる戦いを意味するものであった。彼はその言葉に心を留め、その幻を悟った。

בְּיָמָיו הָהֵם אָנִי הַדְּנִיָּאל הַיְיָתִי מִתְאָבֵל שְׁלֹשָׁה שָׁבָעִים יָמִים:
その-日々は 私 ダニエルは いた 嘆き-悲しみ 三 週の日々
[H3117](#) [H1992](#) [H0589](#) [H1840](#) [H1961](#) [H0056](#) [H7969](#) [H7620](#) [H3117](#)

そのころ、われダニエルは三週の間、悲しんでいた。

לֶחֶם חֲמֻדוֹת לֹא אָכַלְתִּי וּבֶשֶׂר וַיִּנּוּ לֹא כָּא אֶל-פִּי
美味な パンを 食べなかった 肉も ぶどう酒も 入らなかった 口
[H3899](#) [H3808](#) [H0398](#) [H1320](#) [H3196](#) [H3808](#) [H0935](#) [H0413](#) [H6310](#)

וְסוּדָּה לֹא-סָכַתִּי עַד-מְלֵאֵת שְׁלֹשַׁת שָׁבָעִים יָמִים:
そして油を 塗らなかった まで 満ちる 三 週の日々が
[H3808](#) [H5480](#) [H5704](#) [H4390](#) [H7969](#) [H7620](#) [H3117](#)

すなわち三週間の全く満ちるまでは、うまい物を食わず、肉と酒とを口にせず、また身に油を塗らなかった。

וּבַיּוֹם וְעֶשְׂרִים וְאַרְבָּעָה לַחֹדֶשׁ הָרִאשׁוֹן וְאֲנִי הָיִיתִי עַל-יַרְדֵּן
そして-日に 二十 四の-月の 第一の 岸 いた
[H3117](#) [H6242](#) [H0702](#) [H2320](#) [H7223](#) [H0589](#) [H1961](#) [H3027](#)

הַנָּהָר הַגָּדוֹל הוּא חֲדָקְל:
川の 大きな ティグリスである それは
[H5104](#) [H1931](#) [H2313](#)

正月の二十四日に、わたしがチグリスという大川の岸に立っていたとき、

וְאִשָּׁא אֶת-עֵינַי וְאָרָא וְהִנֵּה אִישׁ-אֶחָד לְבוּשׁ כְּרִים
そして上げた を 目を そして見た 一人 人が 衣を-着た 亜麻の
[H5375](#) [H0853](#) [H7200](#) [H2009](#) [H0376](#) [H0259](#) [H3847](#) [H0906](#)

וּמִתְנִיּוֹ וְהַגָּרִים בְּכֶתֶם אוּפָז:
そして腰には 帯びていた の-純金で ウファズの
[H4975](#) [H2296](#) [H3800](#) [H0210](#)

目をあげて望み見ると、ひとりの人がいて、亜麻布の衣を着、ウパズの金の帯を腰にしていた。

6
 וּגְוִיָּתוֹ וּגְוִיָּתוֹ 6
 緑柱石の-ようで そして体は
 כְּתֹרֶשֶׁת־אֶבֶן 6
 緑柱石の-ようで
 וּפְנֵי 6
 そして顔は
 כְּמִרְאֵה 6
 の-姿の-ようで
 בְּרִק 6
 稲妙の
 וְעֵינָיו 6
 そして目は
 כְּלִפְרִי 6
 の-松明の-ようで
 H3940 H4758 H6440 H8658 H1472

אֵשׁ וּזְרַעְתּוֹ וּמִרְגְּלָתָיו 6
 火の そして腕と
 וּזְרַעְתּוֹ 6
 そして腕と
 וּמִרְגְּלָתָיו 6
 そして足は
 כְּעֵיִן 6
 の-輝きの-ようで
 נְחֹשֶׁת 6
 青銅の
 קָלָל 6
 磨かれた
 וְקוֹל 6
 そして声は
 דְּבָרָיו 6
 言葉の
 H1697 H7044 H4772 H2220 H0784

קְוֹל הַמּוֹן :
 群衆の の-声の-ようで

そのからだは緑柱石のごとく、その顔は電光のごとく、その目は燃えるたいまつのごとく、その腕と足は、みがいた青銅のように輝き、その言葉の声は、群衆の声のようであった。

7
 וּרְאִיתִי וּרְאִיתִי 7
 そして見た
 אֲנִי 7
 私
 דָּנִיֵּאל 7
 ダニエルは
 לְבַדִּי 7
 一人だけ
 אֶת- 7
 を
 הַמִּרְאֵה 7
 幻を
 וְהָאָנָשִׁים 7
 そして人々は
 אֲשֶׁר 7
 その
 הָיָו 7
 いた
 עִמִּי 7
 私と-共に
 H1961 H0376 H0853 H0905 H1840 H0589 H7200

לֹא רָאוּ רָאוּ 7
 ない 見なかった
 אֶת- 7
 を
 הַמִּרְאֵה 7
 幻を
 אֲבָל 7
 しかし
 חִרְדָּה 7
 恐れが
 גְּדֹלָה 7
 大きな
 נִפְלָה 7
 落ちた
 עֲלֵיהֶם 7
 彼らの-上に
 וַיִּבְרָחוּ 7
 そして逃げた
 H1272 H5307 H2731 H0061 H0853 H7200 H3808

כְּהִבָּא :
 隠れるために
 H2244

この幻を見た者は、われダニエルのみであって、わたしと共にいた人々は、この幻を見なかったが、彼らは大いにおののいて、逃げかくれた。

8
 וְאֲנִי וְאֲנִי 8
 そして私は
 נִשְׁאַרְתִּי נִשְׁאַרְתִּי 8
 残された
 לְבַדִּי 8
 一人だけ
 וְאֲרָאָה 8
 そして見た
 אֶת- 8
 を
 הַמִּרְאֵה 8
 幻を
 הַגְּדֹלָה 8
 大きな
 הַזֹּאת 8
 この
 וְלֹא 8
 していない
 H3808 H2063 H0853 H7200 H0905 H7604 H0589

נִשְׁאַרְתִּי נִשְׁאַרְתִּי 8
 残らなかった
 בִּי 8
 私には
 כֹּחַ 8
 力が
 וְהוֹרִי 8
 そして輝きが
 נִהְפָּדָה 8
 変わった
 עָלַי 8
 私の-上に
 לְמַשְׁחִית 8
 衰えに
 וְלֹא 8
 していない
 H3808 H4889 H2015 H1935 H7604

עֲצָרְתִּי עֲצָרְתִּי 8
 保てなかった
 כֹּחַ :
 力を
 H6113

それでわたしひとり残って、この大なる幻を見たので、力が抜け去り、わが顔の輝きは恐ろしく変って、全く力がなくなった。

9
 וְאֲשָׁמַע וְאֲשָׁמַע 9
 そして聞いた
 אֶת- 9
 を
 קוֹל 9
 声を
 דְּבָרָיו 9
 言葉の
 וְאֲנִי 9
 そして私は
 הָיִיתִי 9
 いた
 H1961 H0589 H1697 H0853 H8085 H1697 H0853 H8085

נִרְדָּם נִרְדָּם 9
 深い-眠りに-落ちて
 עַל- 9
 の-上に
 פָּנַי 9
 顔を
 וּפְנֵי 9
 顔
 אֶרְצָה :
 地に-向けて
 H0776 H6440 H6440 H7290

わたしはその言葉の声を聞いたが、その言葉の声を聞いたとき、顔を伏せ、地にひれ伏して、深い眠りに陥った。

10
 וְהִנֵּה וְהִנֵּה 10
 そして見よ
 יָד 10
 手が
 נִגְעָה 10
 触れた
 בִּי 10
 私に
 וַתְּנִיעֵנִי 10
 そして動かした
 עַל- 10
 の-上に
 בְּרִכְי 10
 膝と
 וְכַפּוֹת 10
 掌の-上に
 יָדַי :
 手の
 H3027 H3709 H1290 H5128 H5060 H3027 H2009

見よ、一つの手があって、わたしに触れたので、わたしは震えながらひざまずき、手をつくと、

וַיֹּאמֶר	אֵלַי	דָּנִיֵּאל	אִישׁ-	חֲמֻדֹת	הֲבִין	בְּדַבְרֵים	אֲשֶׁר	אֲנֹכִי	דַּבֵּר
そして言った	私に	ダニエルよ	の-人よ	愛された	理解せよ	言葉を	その	私が	語る
H0559	H0413	H1840	H0376	H0995	H1697	H0595	H1696		
וְעָמַד	עַל-	עֲמֻדָּה	כִּי	עַתָּה	שְׁלַחְתִּי	אֵלֶיךָ	וּבְדַבְרֶךָ		
そして立て	の-上に	立つ-所に	なぜなら	今	遣わされた	あなたに	そして語ったとき		
H05975	H05975	H5975	H6258	H7971	H0413	H1696			
עָמִי	אֶת-	הַדְּבָר	הַזֶּה	עָמַדְתִּי	מְרַעֵד:				
私と	を	言葉を	この	立った	震えながら				
H0853	H1697	H2088	H5975	H7460					

彼はわたしに言った、「大いに愛せられる人ダニエルよ、わたしがあなたに告げる言葉に心を留め、立ちあがりなさい。わたしは今あなたのもとにつかわされたのです」。彼がこの言葉をわたしに告げているとき、わたしは震えながら立ちあがった。

וַיֹּאמֶר	אֵלַי	אֵל-	תִּירָא	דָּנִיֵּאל	וְכִי	מִן-	הַיּוֹם	הָרִאשׁוֹן	אֲשֶׁר
そして言った	私に	ない	恐れるな	ダニエルよ	なぜなら	から	日の	最初の	その
H0559	H0413	H0408	H3372	H1840	H7223	H3117			
נָתַתְּ	אֶת-	לְבָבְךָ	לְהַבְיִין	וּלְהַתְעַנּוֹת	לְפָנַי	אֱלֹהֶיךָ	נִשְׁמְעוּ	דְּבָרֶיךָ	
定めた	を	心を	理解するために	そしてへりくだるために	の-前で	神	間かれた	言葉は	
H5414	H0853	H0995	H1697	H8085	H1697	H8085	H0430	H6440	
וְאֲנִי-	בָּאתִי	בְּדַבְרֶיךָ:							
そして私は	来た	の-言葉の-ゆえに							
H0589	H0935	H1697							

すると彼はわたしに言った、「ダニエルよ、恐れるに及ばない。あなたが悟ろうと心をこめ、あなたの神の前に身を悩ましたその初めの日から、あなたの言葉は、すでに間かれたので、わたしは、あなたの言葉のゆえにきたのです。

וְיֹשֶׁר	מַלְכוּת	פָּרְס	עֹמֵד	לְנִנְדִי	עֶשְׂרִים	וְאַחַד	יּוֹם	וְהִנֵּה
そしての-君	王国の	ペルシアの	立っていた	私の-前に	二十	一	日	そして見よ
H8269	H4438	H6539	H5975	H5048	H6242	H0259	H3117	H2009
מִיכָאֵל	אֶחָד	הַשָּׂרִים	הָרִאשׁוֹנִים	בָּא	לְעֹזְרָנִי	וְאֲנִי	נֹתְרִיתִי	שָׁם
ミカエルが	一人の	君たちの	第一の	来た	助けるために	そして私は	残された	そこに
H4317	H0259	H8269	H7223	H0935	H5826	H0589	H3498	H8033
אֶצֶל	מַלְכֵי	פָּרְס:						
の-そばに	王たち	ペルシアの						
H0681	H4428	H6539						

ペルシャの国の君が、二十一日の間わたしの前に立ちふさがったが、天使の長のひとりであるミカエルがきて、わたしを助けたので、わたしは、彼をペルシャの国の君と共に、そこに残しておき、

וּבָאתִי	לְהַבְיִין	אֶת-	אֲשֶׁר-	יִקְרָה	לְעַמְּךָ	בְּאַחֲרִית	הַיָּמִים
そして来た	理解させるために	を	その	降りかかることを	民に	の-終わりに	日々の
H0935	H0995	H0853	H3117	H0935	H0319	H3117	
כִּי-	עוֹד	חֲזוֹן	לְיָמִים:				
なぜなら	なお	幻が	の-日々の-ために				
H5750	H2377	H3117					

末の日に、あなたの民に臨まんとする事を、あなたに悟らせるためにきたのです。この幻は、なおきたるべき日にかかわるものです。

וּבְדַבְרֶךָ	עָמִי	כְּדַבְרֵים	הָאֵלֶּה	נִתְּתִי	פָּנַי	אֶרְצָה	וְנִאֲלַמְתִּי:
そして語ったとき	私と	の-言葉の-ように	これらの	向けた	顔を	地に	そして黙った
H1696	H1697	H0428	H5414	H0776	H6440	H0481	

彼がこれらの言葉を、わたしに述べていたとき、わたしは、地にひれ伏して黙っていたが、

אֶחָד	וְאִין	אֱמוּנָה	בְּכֵתָב	הַרְשׁוּם	אֶת־	לְךָ	אֲנִיד	אֲכַל־	21
一人も	そしていない	真理の	の-書に	記されていることを	を	あなたに	告げる	しかし	
H0259	H0369	H0571	H3791	H7559	H0853		H5046	H0061	
פ	שְׂרָכֶם:	מִיכָאֵל	אִם־	כִּי	אֵלֶּה	עַל־	עִמִּי	מְתַחַזֵּק	
—	あなたがたの-君	ミカエル	のみ	ただし	これら	の-上に	私と-共に	強める-者は	
	H8269	H4317			H0428			H2388	

しかしわたしは、まず真理の書にしるされている事を、あなたに告げよう。わたしを助けて、彼らと戦う者は、あなたがたの君ミカエルのほかにはありません。